



順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	7番 山田裕一	<p>1 地域活性化について  地域活性化のキーワードは、「よそ者」「若者」「ばか者」といわれることがある。つまり、当市以外で生活をされた方のほうが客観的に当市の良い面、悪い面が見えること。また、失敗を恐れないパワーとチャレンジ精神で行動できる若者。さらには、何かに向かって一途に貪欲に熱中できる方々なのだろうと推測できる。そこで総務省が進めている事業を積極的に活用してはいかがか。市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 地域力創造アドバイザー事業の活用について  (2) 地域おこし協力隊を募集してはどうか。</p> <p>2 幼児教育の充実について  県教育委員会は、少子化と核家族化の進行、また親の就労状況の変化、さらには、家庭と地域社会の変化などから考えられる子どもの育ちの変化から（仮称）「学ぶ土台づくり」推進プログラムの策定を目指している。そこで、以下の質問を伺う。</p> <p>(1) 当市の「幼・保・小の連携状況」を具体的にお知らせいただきたい。  (2) 幼児教育の充実には職員の資質向上と指導力向上のための研修も大変重要であると考えますが、当市の職員研修の状況について伺う。  (3) 県は、幼保小連携推進事業のモデル地区指定を目指しているようだが、当市が積極的にモデル地区を目指し、手を挙げてみてはいかがか。  (4) 幼保一元化の推進について市長はどのような所見をお持ちか。</p> <p>3 児童・生徒の生活実態について  児童・生徒の生活実態を的確に把握することが教育の充実には欠かせないと考える。例えば、児童・生徒から直接アンケート（友達関係、学習面や生活面の不安や家庭での手伝いなど）を取ることが最も効果的と考えるが、当市では、実態把握をどのようにされているのか。また、実態把握をされている場合、どのような課題が見えてきたのか所見を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長  教育長</p> <p>市長  教育長</p>
3	17番 大町栄信	<p>1 市場跡地再利用について  市場再利用の検討のため、有志による視察や意見交換をもち特定非営利法人小十郎まちづくりネットワークが設立され、宮城県知事に認証申請し許可された。地域で生産された農作物や物産品等の販売をし地産地消をはかり地域共生型ネットワークを構築し、都市、農村交流や食育活動を行っていく地域活性化のためのプラットフォームとして機能を担い活気と賑わいのあるまちづくり「小十郎の郷」として、白石の観光振興、農業振興を行政と市民参加の地域協働のまちづくりの実現をめざす。  市場再利用について伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	3番 水落孝子	<p>1 TPPへの参加について 農林水産省の試算、宮城県の試算では、食料自給率の低落と共に、農林生産額・雇用の大きな減少が指摘されており、農業は壊滅的な打撃を受けると関係団体は反対しています。そこで、</p> <p>(1) 安全・安心な食料供給、農業をはじめとする地域経済への影響をどのように把握しておられるのか。</p> <p>(2) 2国間のEPA（経済連携協定）は、既に発効しているフィリピン・インドネシアとの間に、看護師・介護福祉士を受け入れています。市長の見解を伺います。</p> <p>TPPは、より広範な職種の受け入れも求められることが想定されています。</p> <p>(3) 今、雇用が大変な時に、国内・地域の雇用を圧迫し、国際的な賃下げ競争につながると考えますが市長の見解を求めます。</p> <p>2 就学援助制度について</p> <p>(1) 小学校・中学校へ納付する父母負担額はそれぞれどれくらいですか。</p> <p>(2) 平成22年度の就学援助認定者は、要保護・準要保護それぞれ何人ですか。</p> <p>(3) 平成22年1月から給付額変更になった体育実技用品費は、今後の推移をどのように勘案されたのか。</p> <p>(4) 平成22年4月から新たにクラブ活動費・PTA会費・学級会費が対象になりましたが、支給対象にすべきではないか。</p> <p>(5) 援助を申請して認定されなかった方は、何人いますか。最近の推移をお尋ねします。 そのうち収入基準をどれほどオーバーしていたのか内訳をお示し下さい。</p> <p>(6) 収入基準をもう少しあげることが必要ではありませんか。</p> <p>3 国民健康保険制度について</p> <p>(1) 国保税滞納額と収納率の推移を5年間ほどお示し下さい。</p> <p>(2) 国保加入者の所得分布をお知らせ下さい。かつて作成していないといわれましたが、今も作成していない場合、所得分布資料の作成をすすめて下さい。 白石市の国保税の負担の状況をみるため、モデル世帯を設定して試算しました。モデル世帯を夫婦片働きで共に40代、未成年の子ども2人、課税所得200万円、固定資産税5万円と設定した場合、国保税は約374千円、その他の税の合計額は約50万円です。可処分所得は約150万円になります。</p> <p>(3) これでは払いたくても払えない状況だと考えますが市長の見解を伺います。 国保の広域化が検討されています。</p> <p>(4) 広域化についての見解を伺います。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長</p>

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	12番 四 竈 英 夫	<p>1 環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）参加による影響について</p> <p>政府は、環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）への参加検討を表明しました。これは、既に協定を結んでいるシンガポールやニュージーランド、チリ、ブルネイの４か国による自由貿易協定（ＦＴＡ）に、参加しようとするもので、２０１５年までに関税の撤廃を目指しています。</p> <p>もしＴＰＰに参加すれば、国内農業は壊滅的な打撃を受けると言われています。農水省の試算によれば、農業生産額は年間４兆１０００億円減少し、食料自給率はカロリーベースで４０％から１４％へ急落。国土や環境保全など、農業の持つ多面的機能も金額換算で３兆７０００億円失われるなど、その打撃は地域経済、社会・環境と広範囲に及びます。</p> <p>農協など農業団体では農業壊滅につながるものとして、ＴＰＰへの参加を阻止する運動を展開しています。農業が基盤産業である本市としてどのような見解をお持ちか市長のお考えを伺います。</p> <p>2 農家に対する「戸別所得補償モデル事業」の実態について</p> <p>今年、米などの農産物に対し「戸別所得補償モデル事業」が実施されました。水田作付１０ａ当たり１万５千円が支払われるもので、農家の期待がかかっています。交付金は申請によって支払われることになっておりますが、本市における申請はどのような状況であったのか伺いたいと思います。</p> <p>また、初めて実施された制度ですので、手続きを進めていく上で、苦労された点や改善を要すると思われる点などあったのではないかと考えられますが、それらについての所見を伺います。</p> <p>一人でも多くの農家が、この制度の恩恵に浴し農業所得を向上させるためには、今後どのような進め方をすべきと思われるかについて伺います。</p>	市長            市長
6	5番 沼 倉 啓 介	<p>1 都市計画の積極的実現によるまちの再生と活性化への取り組みについて</p> <p>過般の河北新報の記事において本市を表現するくだりで、文化と経済の両面から県南地方を力強く牽引してきた白石市。</p> <p>だが、近年は主に中心部の活力が大きく失われ、圏域での求心力低下が叫ばれて久しい、云々があった。</p> <p>特に東北本線白石駅の西側近辺は寂しい表情から脱しきれないでいる。</p> <p>まちの顔とも言えるこれらエリアにおいてはきちっとした都市計画の存在があり過去に実現直前だったものがあるやに聞く。</p> <p>それらの早期実現を果たし、まちの再生と活性化に向け、即、進むべきと思われるが、いかがか。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	10番 大野 栄光	<p>1 農業の崩壊に繋がる環太平洋連携協定（TPP）参加について</p> <p>政府は11月13・14日両日に横浜で開催されたアジア太平洋経済協力会議（APEC）で、「開国と農業再生を両立させ、日本の新たな繁栄を築くための大戦略のスタートだ」と宣言して、TPP「協議開始」を明言しました。これまで農家は50%の食料自給率を目指し、大変な努力を強いられて来ました。安い米価、減反政策、国への政策に協力を惜しまず、殆ど採算度外視の農業経営です。それも美田を守り、自然環境を守り、この瑞穂の地域を守り、次の世代に渡すがために頑張ってきたのだと思います。</p> <p>しかし、この度の例外なき関税撤廃のTPPには、与野党のみならず多くの国会議員、国民が異を唱えて反対しております。当市においても多くの農家が事の推移を見守り、将来に不安を抱えております。市長の賢明なご所見の程お聞かせ戴きたいと思えます。</p>	市長
8	4番 吉田 貞子	<p>1 各種団体への支援及び連携と、行政の関わり方について</p> <p>公衆衛生、交通安全、社会福祉健全育成など、各種大会が11月を中心に開催されました。主催する団体への市の支援のあり方についての見解を伺います。</p> <p>2 行事等のあり方について</p> <p>集中改革プランに、各種行事・イベントの統合・廃止とありますが、どのような方針で進めるのか伺います。市主導、実行委員会、市民団体など所管を越えた行事・イベントをどのように調整しようとしているのか。所見を伺う。</p> <p>3 幼稚園・保育園のあり方について</p> <p>国では、「子ども園」を新設する案が打ち出されている。当市の幼稚園・保育園運営の実情と課題を示せ。保育園は2年後をめざした指定管理者制度への移行が検討されているが、選定理由は何か。どのような日程で進めようとしているのか。移行することによる保育行政サービスの向上は何か。指定管理者制度の課題が全国であがっているが、見解を問う。まだ廃止を決定していない段階で、任期付保育士を採用しているのはなぜか、見解を問う。</p> <p>4 集中改革プランにおける質の高い行政サービスの提供について</p> <p>集中改革プランを実施するなかで、どのような質の高い行政サービスを提供してきたのか、その効果を示せ。</p> <p>5 行政方針の明確化について</p> <p>全事業の検討、見直し、一律予算カットではなく長期的展望と市のすすむべき方向性をもった行政方針を明確にするべきと考えるが、所見を伺う。</p>	市長  市長  市長  市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	4番 吉田 貞子	<p>6 県事業の市町村負担金について 県が実施する公共事業の一部費用を地元市町村が支払う「負担金・分担金制度」が来年全廃されることが決定された。当市への影響について伺う。</p> <p>7 雨水排水事業計画と整備状況について 雨水排水事業計画はどのように策定されているか伺う。その内容を示せ。この計画の中で現在施行中の穴田堀工事の完成時期はいつか。完成後の整備箇所はどこに設定しているのか具体的に示せ。金坪川や白石高校周辺では宅地にまで被害が及んでいるようだが、市民の安全安心を基本とした4万人都市復活大作戦をかける白石市の雨水排水事業についての今後の考え方を問う。</p> <p>8 男女共同参画について 当市の管理職・審議会等への女性の登用状況を示せ。男女共同参画社会形成のための状況調査の内容と結果を示せ。その中での課題と今後の対策を伺う。</p> <p>9 休日当番医制度について 在宅当番医運営委託は、個別当番医に支払われる制度になっているのか委託内容を伺う。 病院群輪番制も含めて、当番医制の課題を伺う。市民への休日医療の啓蒙や刈田病院と医師会の連携を含めた休日医療等の取り組みに対する協議はないか。</p> <p>10 高齢者応援プランについて 地域密着型介護施設が設置されているが、待機者の解消状況と、施設の充足率をどのように判断しているか見解を問う。地域包括センターにおける介護相談は昨年1261件ある。相談員配置は十分と言える状態か、見解を問う。相談体制の強化に対する見解を伺う。保健師配置は十分か、実態を伺う。介護従事者の処遇改善は図られているか、実態把握と見解を伺う。県の「地域福祉支援計画」中間案にある、小中学校区を単位とする福祉ネットワークの構築の早期導入の検討はないか所見を伺う。</p> <p>11 小中学校の再編について 少子化の進展にともなって、各地で議論になっている小中学校の再編についての見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
9	9番 佐久間 儀郎	<p>1 環境美化の促進について 「沿道の草むら等にポイ捨てされた空き缶、ペットボトルのほかに犬のフンが始末されずに放置されていて大変迷惑している。草刈機械で除草する際には空き缶は飛び跳ねて危険だし、また犬のフンは顔面に飛散するなど不衛生極まりない、これには全市的に対策を講じて貰いたい」という住民からの切実な要望を頂戴しております。 勿論、第一には市民のモラルに訴えることではありますが、私はモラルを向上させ、併せて環境美化を図るためには、環境美化の促進に関する条例の制定、それ</p>	<p>市長</p>

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	9番 佐久間 儀 郎	<p>も罰則付きの条例制定が有効な手段であろうと考えています。そこで、この観点で想起するのが平成9年に制定された「白石市空き缶等の散乱の防止に関する条例」でありますので、まず、この条例の実効性ある運用、解釈について若干お尋ねをいたします。</p> <p>(1) 当市条例2条1項1号で「空き缶等」は空き缶、空き瓶その他の容器及びたばこの吸殻、ガムのかみかす、かみくずその他これらに類する物で、捨てられことによって散乱の原因となるものをいう」と定義していますが、では、このなかに犬猫などのペットのフンは含まれ、規制対象となるのでしょうか。他の自治体のこの種の条例では、規制の内容、対象も時代を追って広範囲になる傾向にあるようですので、当市の解釈を伺います。</p> <p>(2) 規制対象であれば、どうか市民への周知を徹底していただきたい。広報しろいしに特集記事を掲載するなり、各戸配布チラシでも結構です。また、よく不法投棄禁止の看板は目にするわけですが、公園や街路植樹柵などに注意を喚起する看板を設置して、愛犬を散歩させる方々の目に届くようにして頂きたいと考えていますが、いかがでしょうか。</p> <p>(3) 条例の対象外とすれば、冒頭申し上げたように、例えば、犬猫等ペットのフン害防止、若しくはフン害禁止条例を新たに制定してみる。若しくは空き缶等のいわゆるポイ捨て条例を一部改正されて規制対象を拡大することが考えられますが、ご所見を伺います。</p> <p>次に、空き缶対策として、一つの提言をさせていただきます。</p> <p>(4) 千葉県のある町で、環境学習の一環として小学校に飲料用の空き缶回収機を設置したところ、児童が大変関心をもち予想以上に集まり、リサイクル意識を高め環境美化推進の効果が大きいと聞きます。空き缶回収機に空き缶を投入すると缶の数を示したチケットが発行され、このチケットは1千缶分で5百円の図書券と交換するシステムになっているようです。費用の面はございますが、本市でも導入を検討してみたいはいかがでしょうか。</p> <p>以上につき、風間市長、武田教育長にご所見を伺います。</p>	<p>市 長 教 育 長</p>

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	2番 管野恭子	<p>1 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種助成について  この度の臨時国会で議決された補正予算には、標記の件につき、2010年度の3か月分と2011年度分において、その接種費用の9割の2分の1を国が負担し、市町村が残りの2分の1を負担した場合は、交付税措置ができるとされている。  本市においても標記三ワクチン接種について、即刻助成実施すべきであり、かつ、交付税措置可能であるところから、本人負担なしで行うべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>2 児童が作る“弁当の日”の設置について  今、児童が作る“弁当の日”への取り組みが全国的に広がっている。栄養のバランスを考慮しながら、児童が一生懸命につくる中で、家族、社会への感謝が生まれたり、食材についての関心が高まったり、さまざまな効果が生じている。“食”をつくれるという事は“生”を支える事であり、重要な取り組みと思う。  本市、小中学校においても、実施の検討をすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>3 使用済みインクカートリッジのリサイクル推進について  2008年4月より、プリンターメーカー6社が日本郵政グループと協力して、共同回収を実施している「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」がある。現在、使用済みインクカートリッジの回収は10%程度で、多くは一般ゴミとして廃棄処分されている。  このプロジェクト参加の自治体が増えているが、本市もゴミ削減、温暖化防止の為に参加し、公共施設に改修ボックスを設置する検討をしてはどうか、見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>